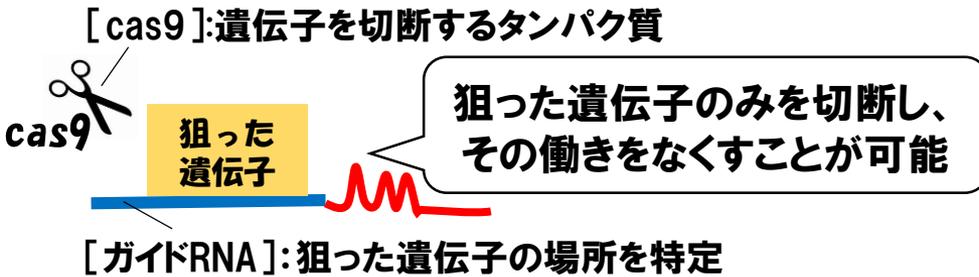


かんきつのゲノム編集利用に向けた 培養技術の開発について

近年、温州みかんにおける浮皮が問題となっており、浮皮にならない新品種の開発が求められる。しかし、温州みかんは多胚であることから、従来の交雑育種による新品種の開発が困難である。そこで、新たな育種手法としてゲノム編集技術の利用を検討しているが、現在のところかんきつのゲノム編集を行うにあたって必要な培養技術が未確立である。本試験では、温州みかんにおける細胞培養技術の確立を試みている。

ゲノム編集とは

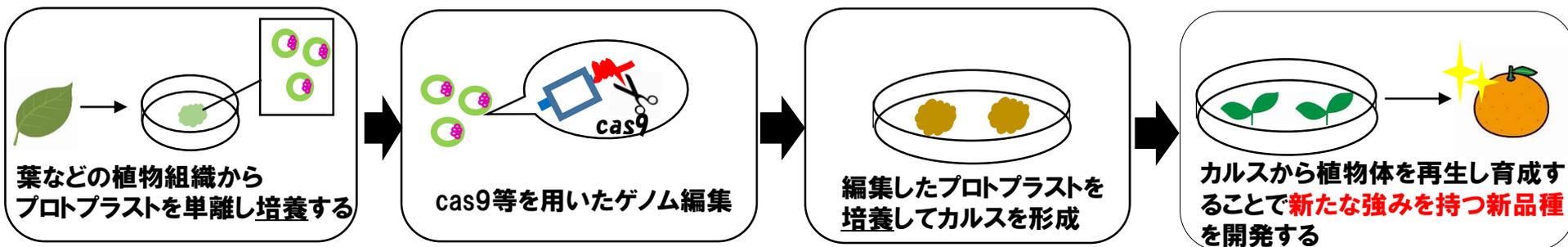


最終目標

ゲノム編集を用いた
浮皮に關与する遺伝子の切断を行う
→ **新品種** (浮皮にならないみかん) の開発



ゲノム編集に必要な培養技術の開発に向けた取り組み



プロトプラスト培養・カルス形成・植物体再生それぞれに最適な培地と培養条件を検討し、
培養技術の確立を目指す